

大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
(あんしんプラン) 第8期計画検討資料

令和2(2020)年11月

大田原市保健福祉部高齢者幸福課

- 計画策定の趣旨

第7期計画の取組を引き継ぎつつ、国の基本指針を踏まえて、団塊の世代が後期高齢者となる令和7（2025）年及び85歳以上人口が急速に増加し、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎える令和22年（2040）年を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進を更に進展させる方向性を示した計画とする。

- 計画の位置づけ

本計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「老人福祉計画」と介護保険法第117条の規定に基づく「介護保険事業計画」を一体のものとして策定する。

「大田原市総合計画（おおたわら国造りプラン）」を最上位計画とし、「第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を上位計画とする。また、「第3次健康おおたわら21計画」、「第6期大田原市障害福祉計画」「大田原市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（第2期）」、「大田原市住宅マスタープラン」等の関連計画と調和のとれた計画とし、更に「栃木県高齢者支援計画『はつらつプラン21（8期計画）』」、「栃木県保健医療計画（第7期計画）」との整合性を図ることとする。

- 計画の期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度を初年度とし、令和5（2023）年度までの3か年とする。

- 計画策定手続きとPDCAサイクル

計画策定にあたっては、介護保険運営協議会への諮問を行うとともに、各種調査、パブリックコメントの実施によって、地域の状況を把握し、市民及び関係者の意見を十分に反映させることとする。

また、計画の実施状況の進捗管理については、介護サービス見込量、事業の「取組と目標」、保険者機能強化推進交付金等における評価指標による毎年度の事業実施の評価と検証を行い、介護保険運営協議会へ報告し、意見をいただきながらPDCAサイクルを活用する。

第8期計画において記載を充実する事項（国の基本指針より抜粋）

1 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備

○2025・2040年を見据え、地域ごとの推計人口等から導かれる介護需要等を踏まえて計画を策定

※基盤整備を検討する際、介護離職ゼロの実現に向けたサービス基盤整備、地域医療構想との整合性（病床の機能分化及び連携に伴い生じるサービス必要量に関する整合性の確保）を踏まえる必要がある旨は第7期から記載。

※指定介護療養型医療施設の設置期限（2023年度末）までに確実な転換等を行うための具体的な方策について記載。

※第8期の保険料を見込むに当たっては直近（2020年4月サービス分以降）のデータを用いる必要がある。

2 地域共生社会の実現

○地域共生社会の実現に向けた考え方や取組について記載

3 介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）

○一般介護予防事業の推進に関して「PDCAサイクル沿った推進」、「専門職の関与」、「他の事業との連携」について記載

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について記載

○自立支援、介護予防・重度化防止に向けた取り組みの例示として就労的活動等について記載

○総合事業の対象者や単価の弾力化を踏まえて計画を策定

○保険者機能強化推進交付金等を活用した施策の充実・推進について記載。（一般会計による介護予防等に資する独自事業等について記載。）

○在宅医療・介護連携の推進について、看取りや認知症への対応強化等の観点を踏まえて記載

○要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標については国で示す指標を参考に計画に記載

○PDCAサイクルに沿った推進にあたり、データの利活用を進めることやそのための環境整備について記載

4 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化

○住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を記載

○整備に当たっては、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を勘案して計画を策定

5 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

○認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、5つの柱に基づき記載。（普及啓発の取組やチームオレンジの設置及び「通いの場」の拡充等について記載。）

○教育等他の分野との連携に関する事項について記載

6 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化

○介護職員に加え、介護分野で働く専門職を含めた介護人材の確保の必要性について記載

○介護現場における業務仕分けやロボット・ICTの活用、元気高齢者の参入による業務改善など、介護現場革新の具体的な方策を記載

○総合事業等の担い手確保に関する取組の例示としてボランティアポイント制度等について記載

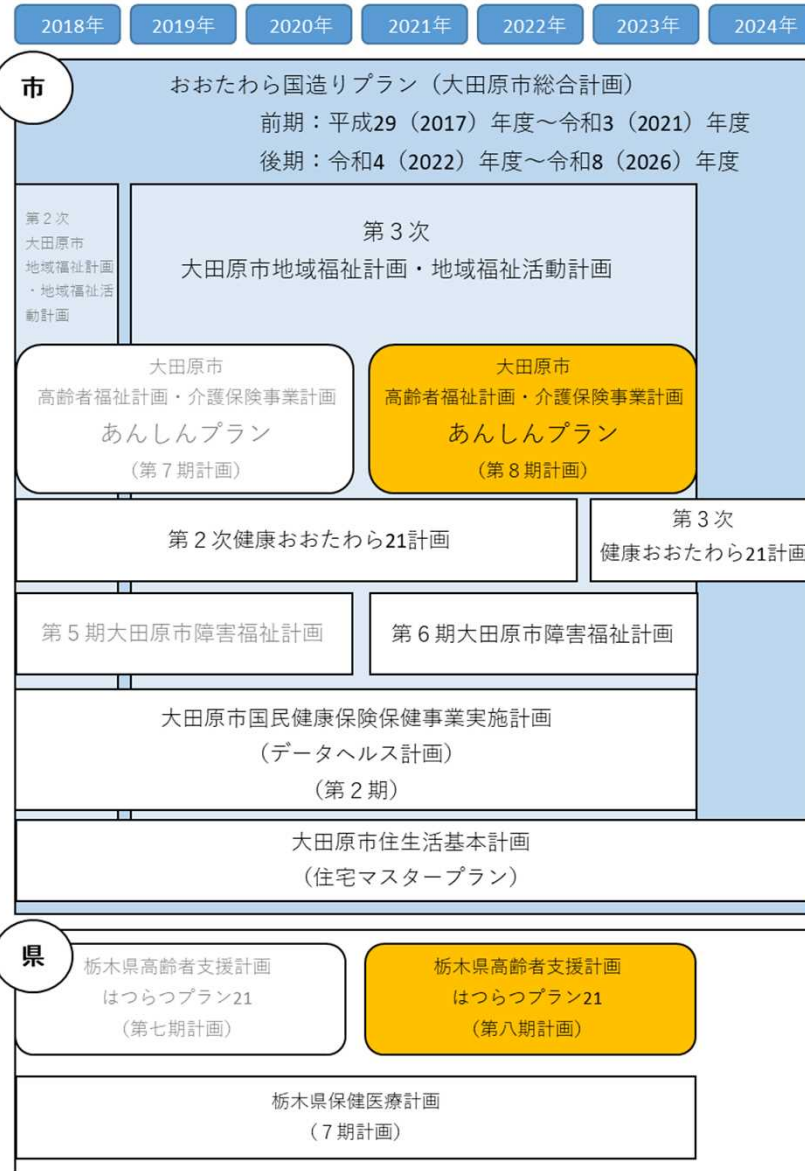
○要介護認定を行う体制の計画的な整備を行う重要性について記載

○文書負担軽減に向けた具体的な取組を記載

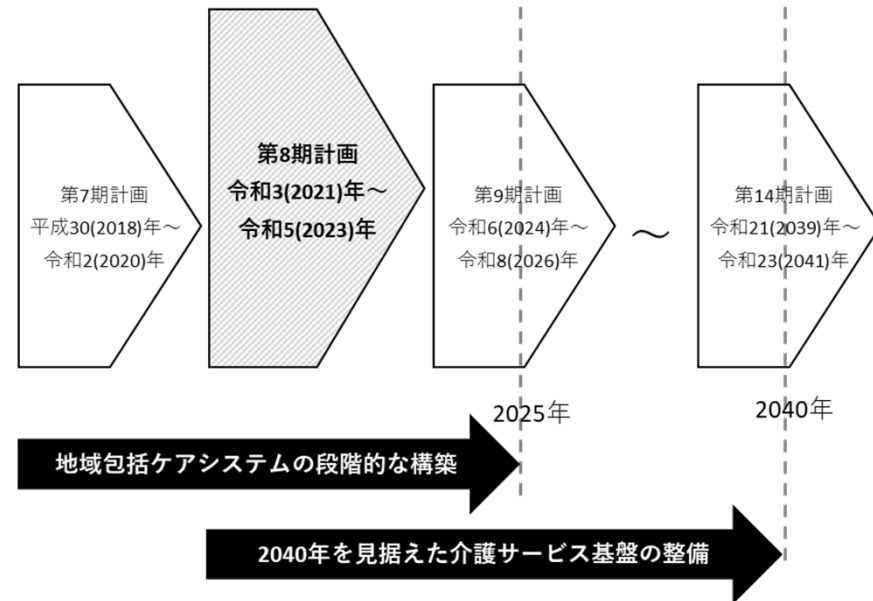
7 災害や感染症対策に係る体制整備

○近年の災害発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、これらへの備えの重要性について記載

計画の位置づけ



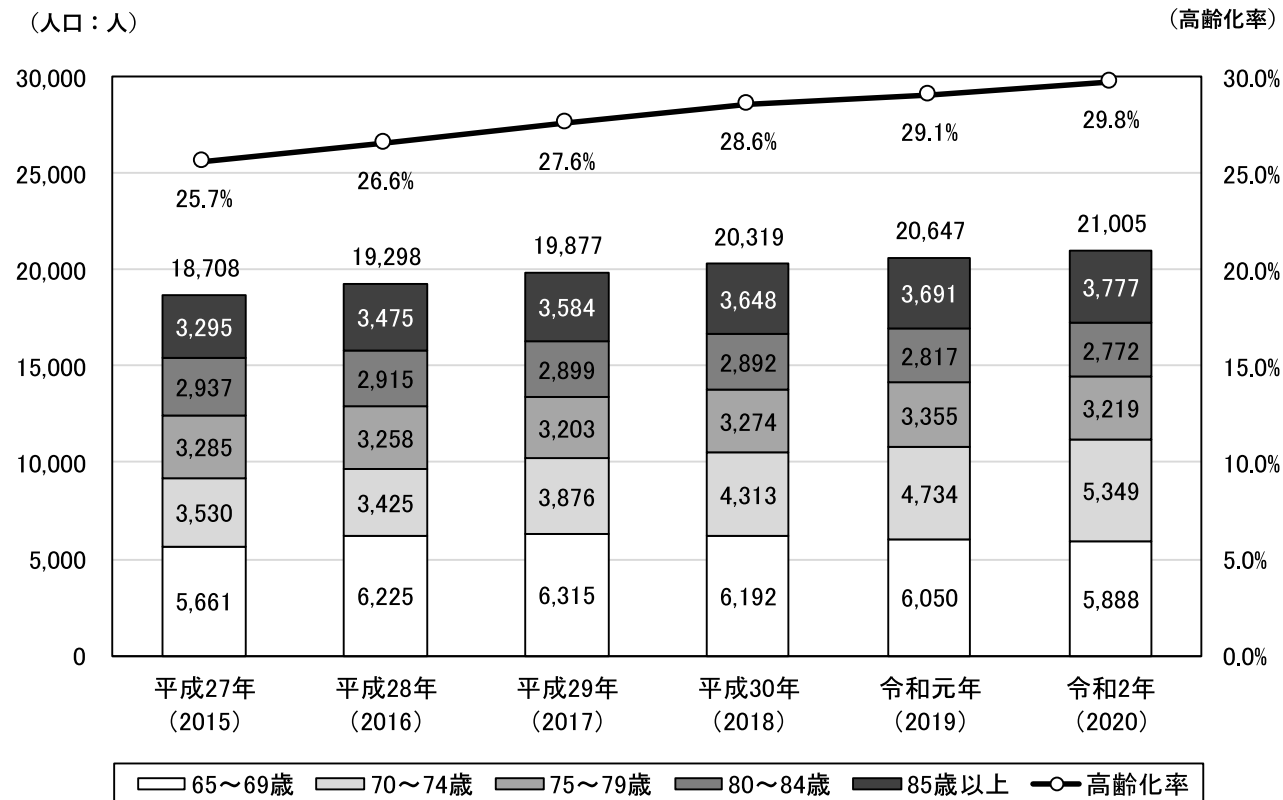
計画期間と中長期的な目標



第8期計画施策体系図（取組と目標）

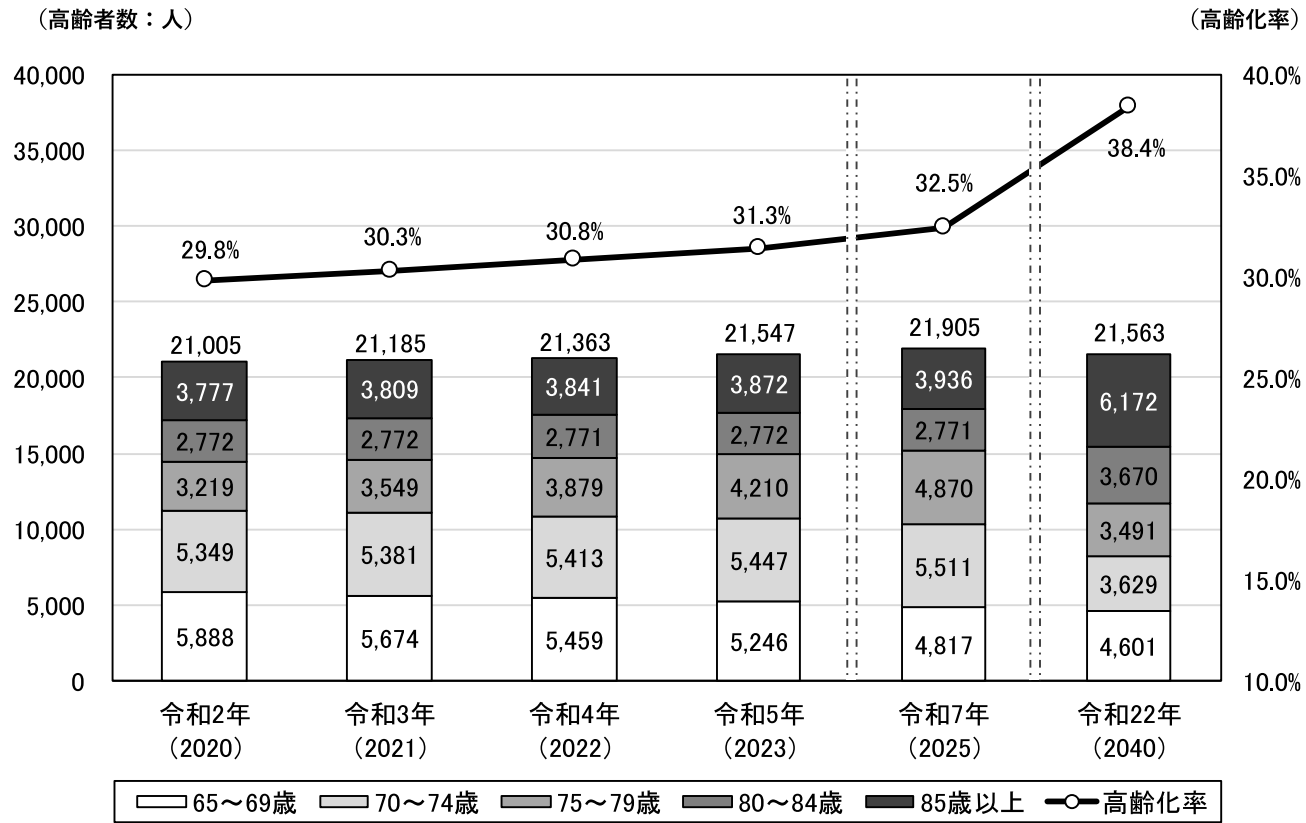
地域が目指すビジョン【総論】		取り組むべき具体的な方策【各論】 （重点施策）	
基本理念 （大目標）	中目標（目指すべき方向性）		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 住み慣れた地域の中で いつまでもいきいきと 安心して暮らせるまち </p>	<p>ビジョンⅠ</p> <p>地域 い き 中 で 役 割 を 持 ち 暮 ら せ る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体による生活支援が充実している ○地域共生社会に向けて、地域における支え合いの体制ができています ○自立支援、介護予防・重度化防止の取組とその理念・意識の共有ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防・日常生活支援総合事業 ○一般介護予防事業の推進 ○高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施 ○生活支援体制整備事業・安心生活見守り事業 ○地域包括支援センターの機能・体制の強化 ○地域ケア会議の推進 ○紙おむつ等給付、ほほえみセンター・ささえ愛サロンの支援（保健福祉事業） ○在宅高齢者生活支援事業 ○高齢者の住まいの安定的な確保
	<p>ビジョンⅡ</p> <p>て 認 知 症 に な ら な い と 暮 ら せ る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の容態に応じた適切な医療と介護を受けられる体制ができています ○認知症高齢者にやさしい地域である 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症に関する普及啓発・本人発信の支援 ○認知症予防 ○医療・ケア、介護サービス、介護者への支援の推進 ○認知症バリアフリー、若年性認知症支援、社会参加支援の推進 ○認知症の研究開発、産業促進、国際展開の連携
	<p>ビジョンⅢ</p> <p>と 望 ま れ る 方 で 暮 ら せ る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○医療と介護を多職種協働によって一体的に提供できる体制ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携に関する情報収集・課題の把握・施策の企画立案・関係者に対する周知 ○在宅医療・介護連携に関する相談・情報提供・助言・援助 ○在宅医療・介護連携に関する地域住民に対する普及啓発 ○医療・介護関係者間の情報共有・知識向上に必要な研修の実施 ○在宅生活における看取りや認知症、感染症や災害時対応の強化
	<p>ビジョンⅣ</p> <p>し な 介 護 を 受 け ら れ る 心 を も た せ る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○介護サービスの量と質が確保されている ○介護サービスを安心して利用できる環境が整っている ○介護給付の適正化が図られている 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な介護サービス量の見込みと給付事業 ○介護給付適正化事業 ○事業所指定及び指導・監督 ○介護サービス利用時における災害や感染症対策に係る体制整備 ○介護サービス基盤整備 ○介護人材確保と業務効率化の取組

高齢者年代別人口と高齢化率の実績



項目	平成27 (2015)年	平成28 (2016)年	平成29 (2017)年	平成30 (2018)年	令和元 (2019)年	令和2 (2020)年
総人口	72,929	72,581	72,071	71,499	70,986	70,574
高齢者人口	18,708	19,298	19,877	20,319	20,647	21,005
高齢化率	25.70%	26.60%	27.60%	28.40%	29.10%	29.80%

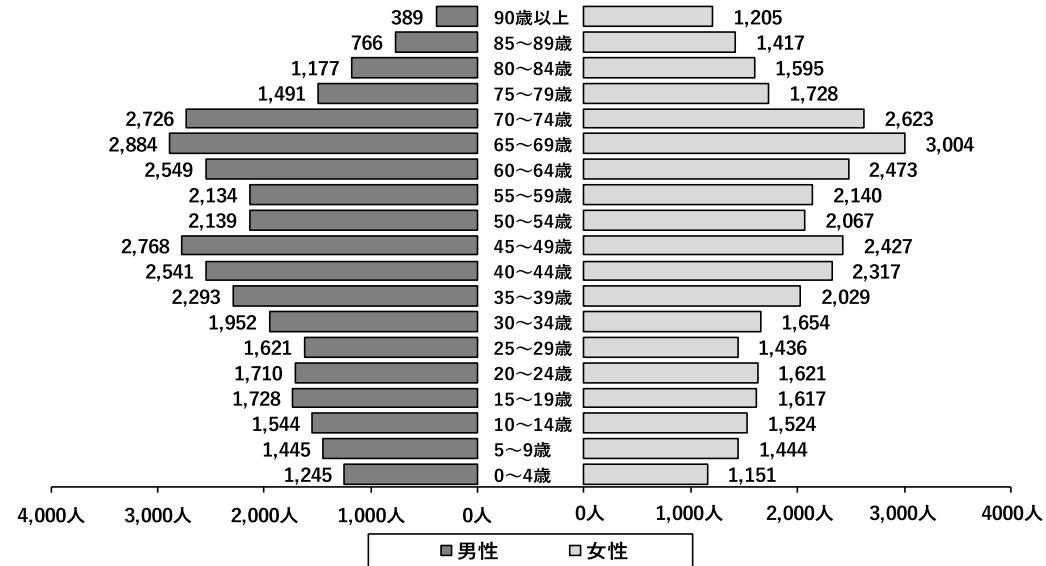
高齢者年代別人口と高齢化率の推計



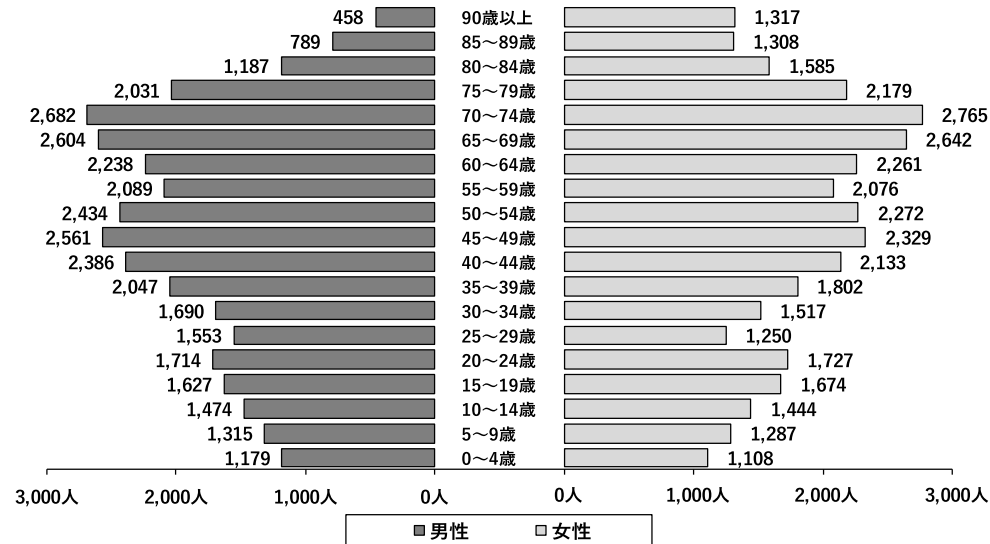
項目	令和2 (2020)年	令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和7 (2025)年	令和22 (2040)年
総人口	70,574	69,958	69,339	68,734	67,499	56,135
高齢者人口	21,005	21,185	21,363	21,547	21,905	21,563
高齢化率	29.8%	30.3%	30.8%	31.3%	32.5%	38.4%

大田原市の人口ピラミッド

令和2(2020)年10月



令和5(2023)年【計画最終年】推計



日常生活圏域別65歳以上人口の実績と推計

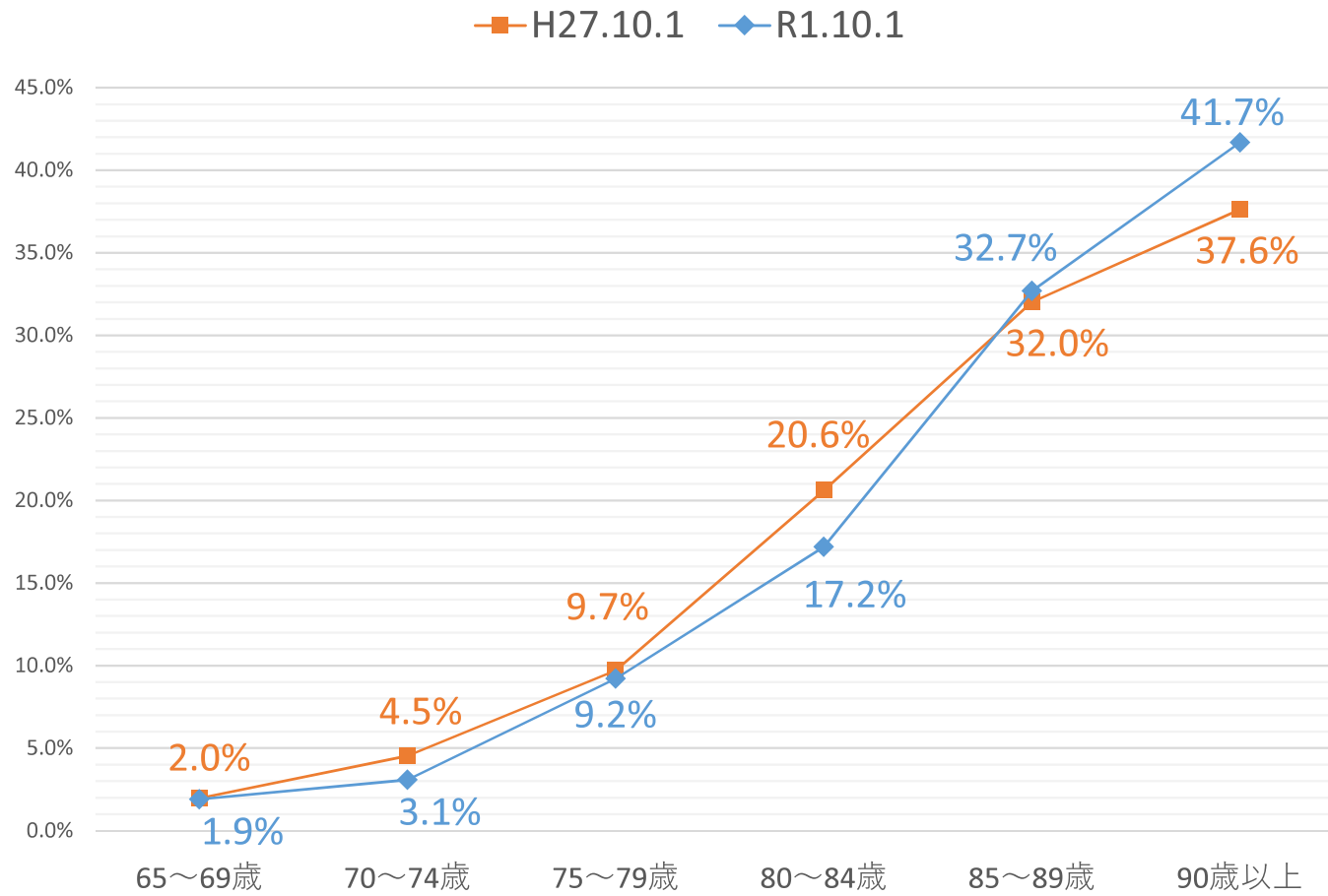
単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
大田原	2,372	2,413	2,452	2,473	2,494	2,515	2524	2,486	2,408	2,394
紫塚	1,551	1,559	1,588	1,602	1,615	1,629	1627	1,594	1,535	1,519
西原	2,940	3,006	3,086	3,112	3,139	3,166	3357	3,504	3,600	3,778
金田北	2,298	2,379	2,411	2,432	2,452	2,473	2645	2,775	2,865	3,019
金田南	1,391	1,410	1,435	1,447	1,459	1,472	1512	1,519	1,503	1,524
親園	1,291	1,331	1,348	1,360	1,371	1,383	1429	1,453	1,454	1,491
野崎	1,858	1,883	1,923	1,939	1,956	1,973	2053	2,094	2,103	2,163
佐久山	913	909	927	935	943	951	919	861	788	739
湯津上	1,561	1,576	1,602	1,616	1,629	1,643	1626	1,573	1,492	1,455
黒羽	1,325	1,349	1,394	1,406	1,418	1,430	1436	1,423	1,387	1,388
川西	1,326	1,343	1,360	1,372	1,383	1,395	1355	1,297	1,216	1,172
両郷	789	795	789	796	802	809	762	695	615	557
須賀川	704	694	690	696	702	708	629	538	435	350
合計	20,319	20,647	21,005	21,185	21,363	21,547	21,874	21,812	21,401	21,549

※基準日10月1日（住民基本台帳の人口を基に推計）

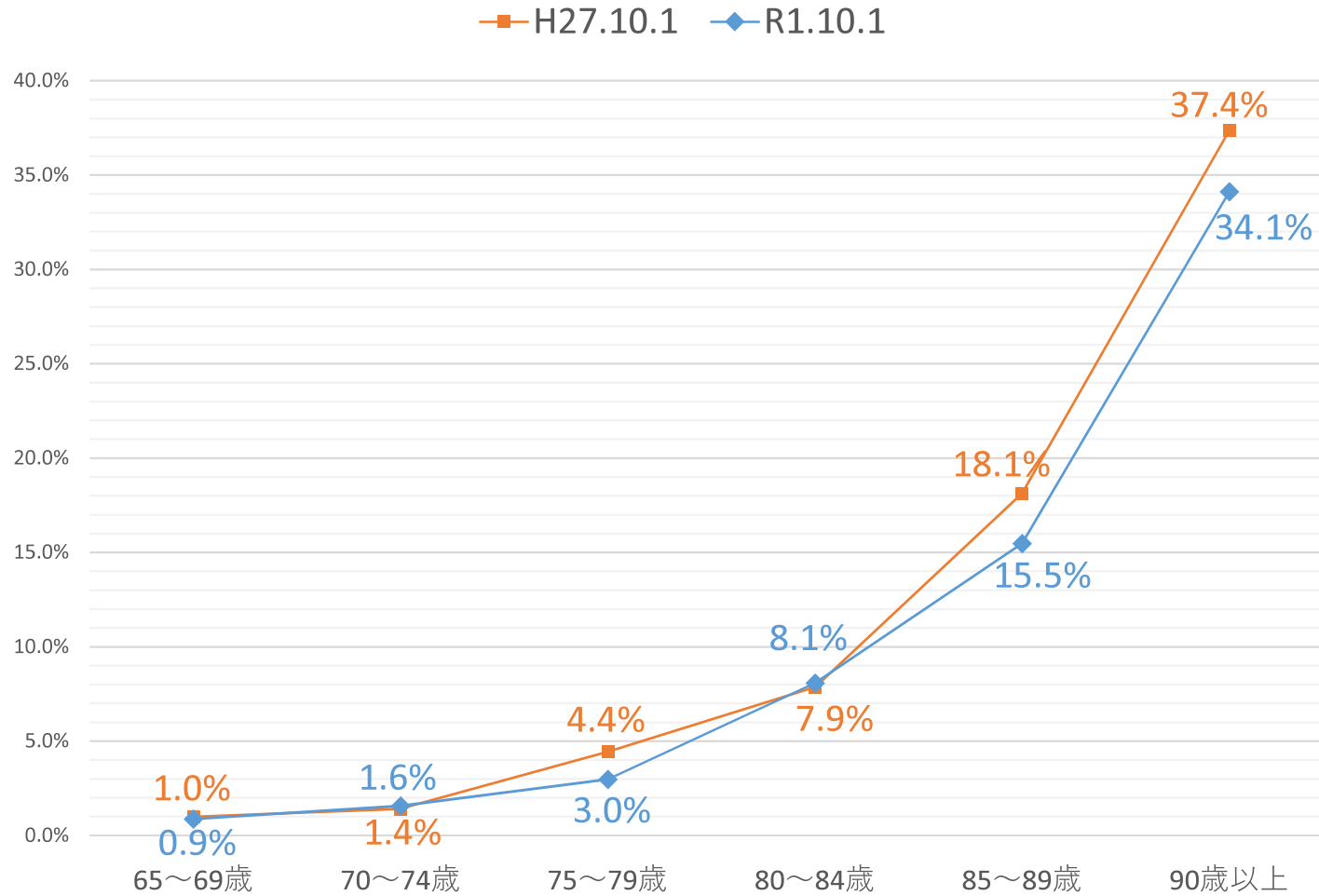
大田原市の第1号被保険者の年齢階級別認定率（軽度者）の変化

認定率（要支援1～要介護2）



大田原市の第1号被保険者の年齢階級別認定率（重度者）の変化

認定率（要介護3～5）

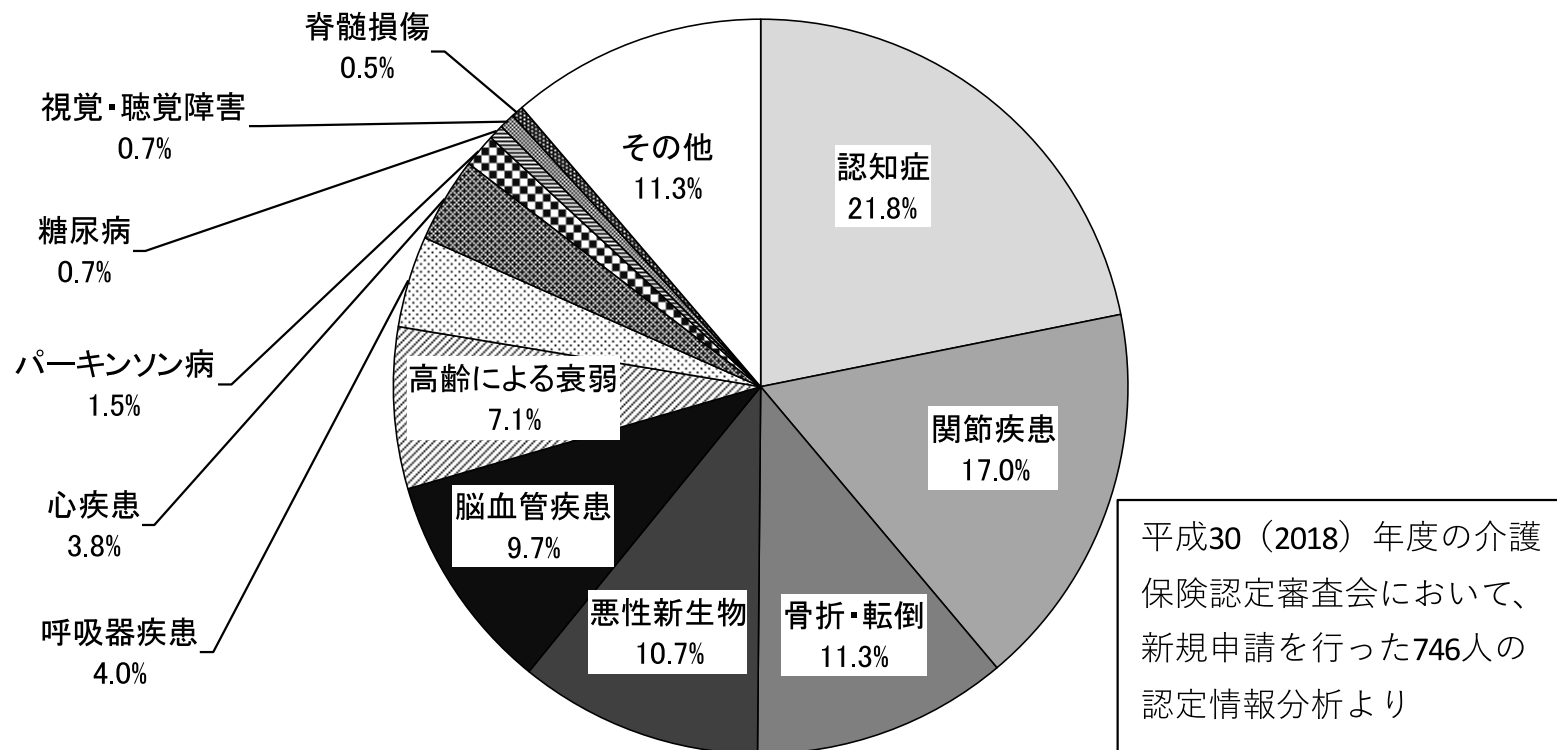


高齢者人口と認定率の推計

7期計画 (実績)	H30			R1			R2			
	認定者数	人口	認定率	認定者数	人口	認定率	認定者数	人口	認定率	
65～69歳	170	6,192	2.7%	167	6,050	2.8%	153	5,945	2.6%	
70～74歳	201	4,313	4.7%	216	4,734	4.6%	233	5,170	4.5%	
前期高齢者計	371	10,505	3.5%	383	10,784	3.6%	386	11,115	3.5%	(+610人)
75～79歳	404	3,274	12.3%	397	3,355	11.8%	383	3,273	11.7%	
80～84歳	752	2,892	26.0%	694	2,817	24.6%	682	2,745	24.8%	
85～89歳	1,057	2,201	48.0%	1,052	2,205	47.7%	1,033	2,207	46.8%	
90歳以上	1,074	1,447	74.2%	1,121	1,486	75.4%	1,168	1,574	74.2%	
後期高齢者計	3,287	9,814	33.5%	3,264	9,863	33.1%	3,266	9,799	33.3%	(-15人)
第1号被保険者	3,658	20,319	18.0%	3,647	20,647	17.7%	3,652	20,914	17.5%	(+595人)
第2号被保険者	72	24,052	0.3%	73	23,776	0.3%	79	23,569	0.3%	
第1号・第2号合計	3,730	-	18.4%	3,720	-	18.0%	3,731	-	17.8%	

8期計画 (推計)	R3			R4			R5			
	認定者数	人口	認定率	認定者数	人口	認定率	認定者数	人口	認定率	
65～69歳	159	5,730	2.8%	156	5,514	2.8%	152	5,298	2.9%	
70～74歳	236	5,249	4.5%	244	5,328	4.6%	250	5,406	4.6%	
前期高齢者計	395	10,979	3.6%	400	10,842	3.7%	402	10,704	3.8%	(-275人)
75～79歳	415	3,560	11.7%	458	3,847	11.9%	493	4,133	11.9%	
80～84歳	697	2,760	25.3%	713	2,774	25.7%	705	2,789	25.3%	
85～89歳	1,025	2,170	47.2%	1,017	2,133	47.7%	994	2,096	47.4%	
90歳以上	1,221	1,638	74.5%	1,268	1,703	74.5%	1,318	1,767	74.6%	
後期高齢者計	3,358	10,128	33.2%	3,456	10,457	33.0%	3,510	10,785	32.5%	(+657人)
第1号被保険者	3,753	21,107	17.8%	3,856	21,299	18.1%	3,912	21,489	18.2%	(+382人)
第2号被保険者	81	23,306	0.3%	80	23,044	0.3%	77	22,784	0.3%	
第1号・第2号合計	3,834	-	18.2%	3,936	-	18.5%	3,989	-	18.6%	

介護が必要になった主な原因



要介護度別にみた介護が必要になった原因（上位3位）

	第1位		第2位		第3位	
要支援1	関節疾患	30.1%	高齢による衰弱	18.3%	認知症	11.1%
要支援2	関節疾患	37.2%	高齢による衰弱	12.4%	骨折・転倒	12.4%
要支援者計	関節疾患	33.1%	高齢による衰弱	15.8%	認知症	9.0%
要介護1	認知症	41.8%	骨折・転倒	12.9%	関節疾患	9.5%
要介護2	認知症	29.7%	骨折・転倒	17.8%	悪性新生物	10.2%
要介護3	認知症	21.7%	骨折・転倒	17.4%	悪性新生物	15.2%
要介護4	悪性新生物	25.8%	脳血管疾患	19.7%	認知症	13.6%
要介護5	脳血管疾患	24.5%	悪性新生物	22.4%	関節疾患	8.2%
要介護者計	認知症	29.0%	骨折・転倒	13.3%	悪性新生物	13.3%
総数	認知症	21.8%	関節疾患	17.0%	骨折・転倒	11.3%

※平成30（2018）年度新規申請者746人の分析（非該当は含まない）

大田原市における施設・居住系サービスの基盤の現状

サービス種類	整備数(箇所)	定員数 (合計人数)
特別養護老人ホーム (広域型)	6	279
特別養護老人ホーム (地域密着型)	6	138
介護老人保健施設	2	200
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	9	108
特定施設入所者生活介護	3	148
合計	26	873

参考(施設・居住系サービス以外の宿泊可能なサービス等)

サービス種類	整備数(箇所)	定員数 (合計人数)
小規模多機能型居宅介護	10	※ 79
短期入所生活介護(ショートステイ)	11	211
サービス付き高齢者住宅	4	128
有料老人ホーム	2	42
合計	27	460

※泊まり利用の定員数

施設・居住系サービス 圏域分布

		大田原	西原	紫塚	金田北	金田南	親園	野崎	佐久山	湯津上	黒羽	川西	両郷	須賀川
特別養護老人ホーム	広域型 (30人～)					2		1		1			1	
	地域密着型 (～29人)	1	1		1		1	1					1	
認知症共同生活型居宅介護 (グループホーム)		2		1		1	1		1	1	1	1		
介護老人保健施設			1					1						
特定施設入所者生活介護		1		1	1									

参考(施設・居住系サービス以外の宿泊可能なサービス等)

	大田原	西原	紫塚	金田北	金田南	親園	野崎	佐久山	湯津上	黒羽	川西	両郷	須賀川
小規模多機能型居宅介護	3	1		1		1			1		2		1
短期入所生活介護 (ショートステイ)	1	1	2		3		1		1	1		1	
サービス付き高齢者住宅		4											
有料老人ホーム			1									1	

サービス付き高齢者向け住宅入居者数の推計

年齢別入居者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
65歳未満	4	4	4	4	4	3	3	3
65～74歳	18	18	17	17	16	14	12	13
75～84歳	38	40	42	44	48	59	54	45
85歳以上	74	75	75	76	77	79	104	121
合計	134	136	138	141	145	155	173	182

要介護度別入居者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
要支援1	2	2	2	2	2	3	3	3
要支援2	5	6	6	6	6	6	7	7
要介護1	49	51	51	51	52	58	65	69
要介護2	32	34	35	35	34	37	41	45
要介護3	20	20	21	22	22	24	26	29
要介護4	15	15	16	16	16	17	19	21
要介護5	15	15	15	16	16	17	19	21
合計	138	143	146	149	149	163	181	195

有料老人ホーム入居者数の推計

年齢別入居者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
65歳未満	1	1	1	1	1	1	1	1
65～74歳	7	7	7	7	7	6	5	5
75～84歳	25	27	28	29	32	39	36	30
85歳以上	51	52	52	53	54	55	72	84
合計	85	87	88	90	93	100	114	120

要介護度別入居者数

単位：人

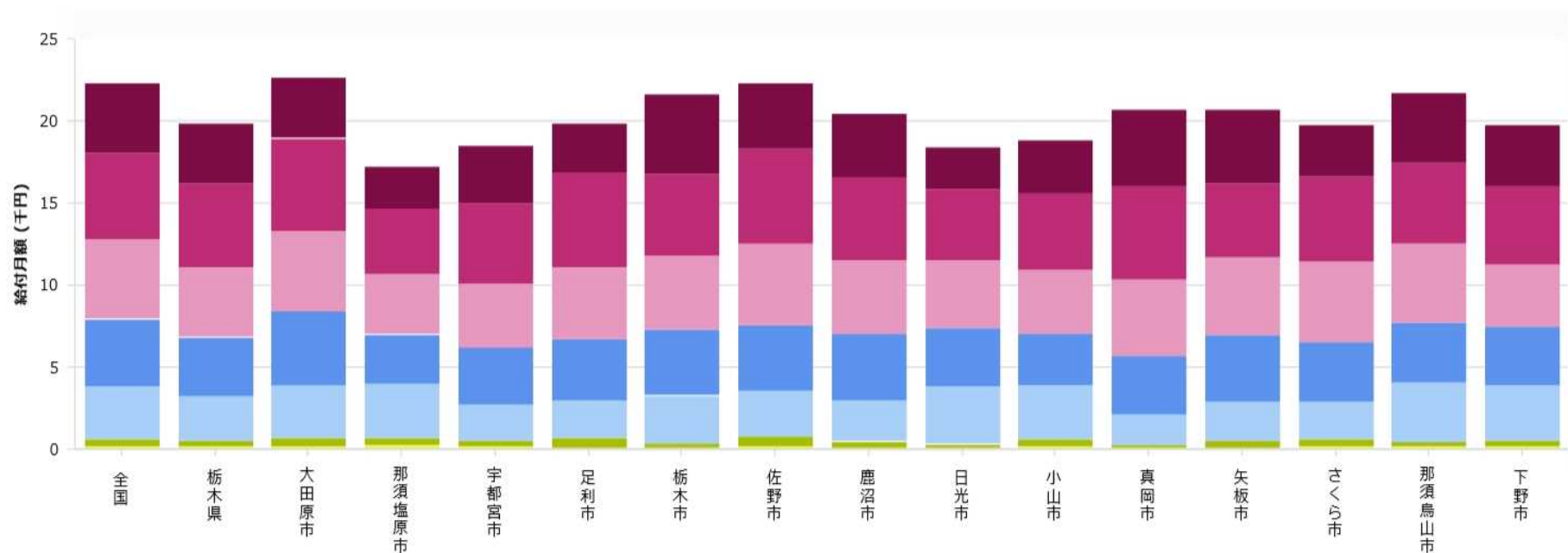
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
自立	4	4	4	4	4	4	4	4
要支援1	10	10	11	11	11	13	14	14
要支援2	6	7	7	7	7	7	8	8
要介護1	23	24	24	24	25	28	31	33
要介護2	19	20	21	21	20	22	25	27
要介護3	13	13	13	14	14	15	17	18
要介護4	8	8	8	9	9	9	10	11
要介護5	3	3	3	3	3	3	4	4
合計	87	90	91	93	94	102	112	120

介護給付費推移（単位：千円）



第1号被保険者1人あたり給付月額（要介護度別）

■ 要支援1
 ■ 要支援2
 ■ 経過的要介護
 ■ 要介護1
 ■ 要介護2
 ■ 要介護3
 ■ 要介護4
 ■ 要介護5

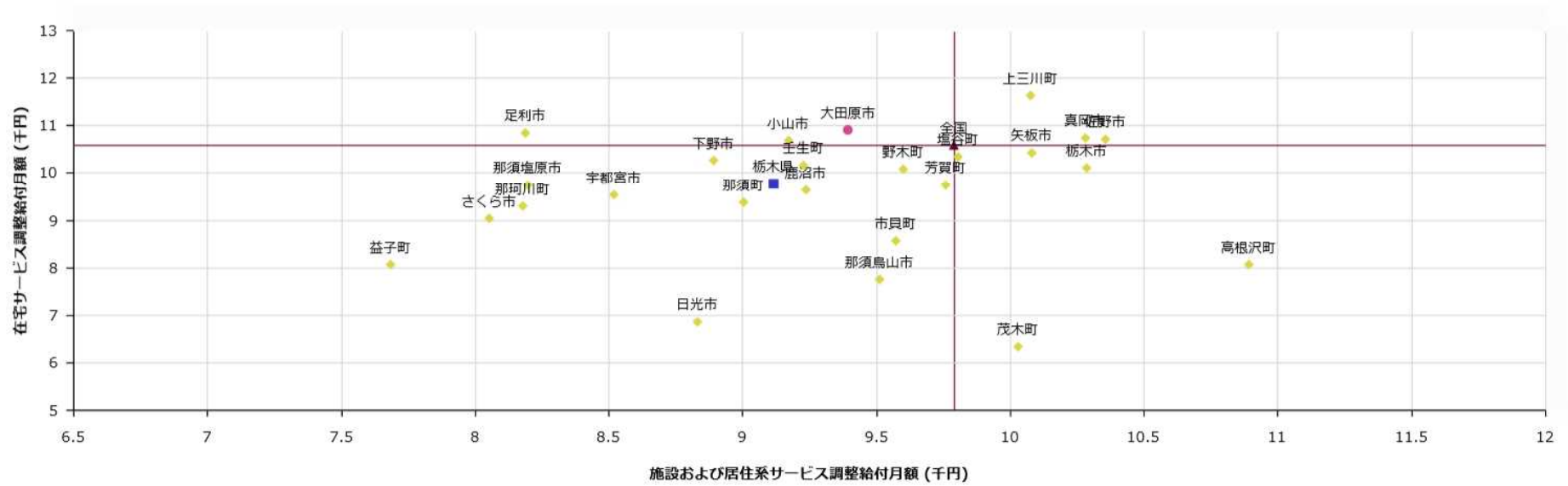


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (令和元,2,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）

▲ 全国 ■ 栃木県 ● 大田原市 ● その他地域



(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

認知症高齢者推計結果 (認知症有病率が平成24年度以降上昇すると仮定した場合)

単位：人

平成24年度	平成27年度	令和2年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
2,613	2,993	3,781	4,512	5,065	5,448	5,477

※「認知症患者数と有病率の将来推計」（厚生労働省研究事業）の推定有病率により算出

1人暮らし高齢者数推計結果

単位：人

平成22年度	平成27年度	令和2年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
1,961	2,568	3,154	3,301	3,732	3,567	4,043

※「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）により算出

介護人材需給に係る推計結果

単位：人

	平成30年度	令和2年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度
サービス受給者数	3,012	3,069	3,176	3,247	3,533	4,014	4,227
介護職員数	1,095	1,116	1,155	1,181	1,284	1,459	1,537
介護事業所の看護職員数	200	204	211	216	235	267	281
介護その他の職員数	579	589	610	624	679	771	812
合計	1,874	1,909	1,976	2,020	2,198	2,497	2,630

※簡易推計ツール（厚生労働省）により算出